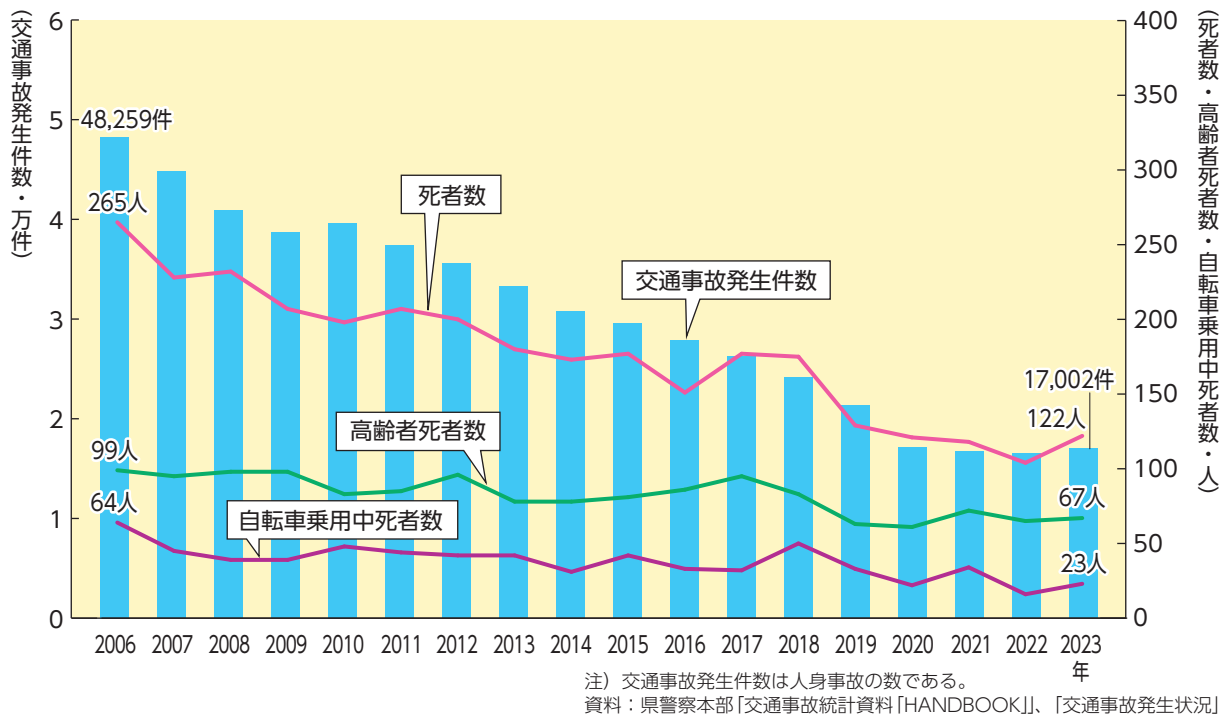


16 交通事故・犯罪

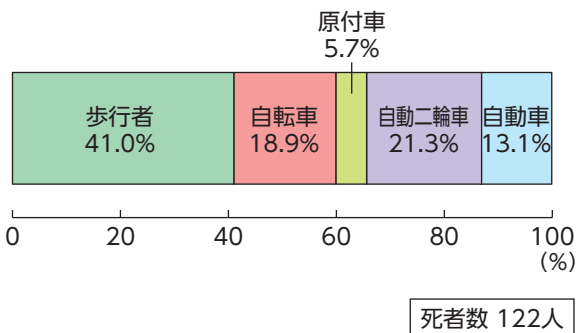
① 交通事故の発生件数と死者数の推移



- ↑ 2023年中の交通事故の発生件数は、前年より426件多い17,002件でした。
交通事故による死者数は、2017年以降減少で推移していましたが、6年ぶりの増加となりました。また、「高齢者死者数」も前年より2人増加して67人となっています。

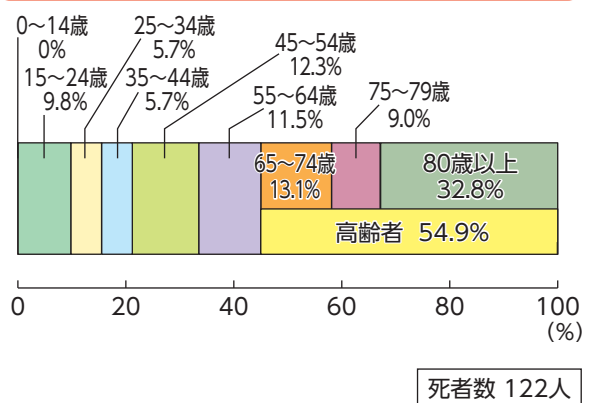
🌞 埼玉県の日 🌙 交通事故(人身事故)発生件数 47件

② 状態別の交通事故死者数の割合 (2023年)



資料：県警察本部「交通事故発生状況」

③ 年代別の交通事故死者数の割合 (2023年)



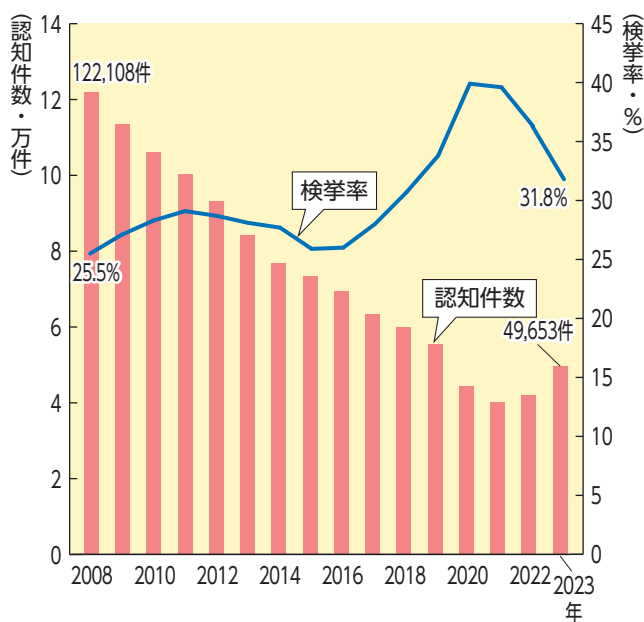
資料：県統計課「埼玉県統計年鑑」、県警察本部「交通事故発生状況」

- ↑ 交通事故による状態別死者数は、歩行中が50人で最も多く、次いで自動二輪車が26人となっています。

- ↑ 交通事故による死者数を年齢別に見ると、65歳以上の高齢者が67人と、全体の54.9%を占めています。また、0~14歳の死者数は0人でした。



④ 刑法犯の認知件数と検挙率の推移

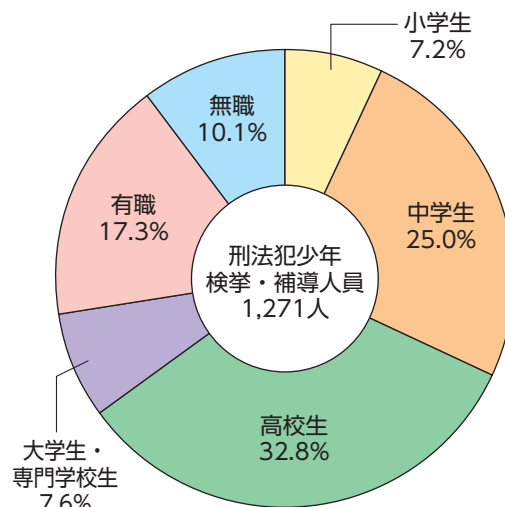


注) 交通業過を除く。
資料：県警察本部「犯罪統計」

- 2023年の刑法犯の認知件数は49,653件で、前年より7,670件(18.3%)増加しました。また、検挙件数は15,795件で、認知件数に占める割合(検挙率)は31.8%となり、前年を4.5ポイント下回っています。

埼玉県の1日 刑法犯認知件数 136件

⑤ 刑法犯で検挙・補導された少年の学職別人員の割合 (2023年) (刑法に触れる行為をして補導された触法少年を含む)



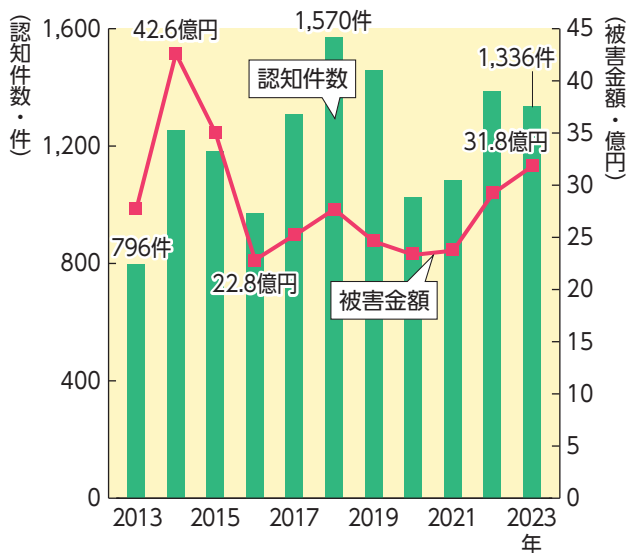
注) 1 刑法犯少年とは14歳以上20歳未満の者で、刑法等に規定する罪(交通関係を除く。)を犯した(犯罪に触れる行為をした)少年。

2 触法少年とは犯罪に触れる行為をした14歳未満の少年。

資料：県警察本部「少年非行等の概況」

- 2023年中に検挙・補導された少年の数は1,271人でした。最も多かったのは高校生で全体の32.8%でした。

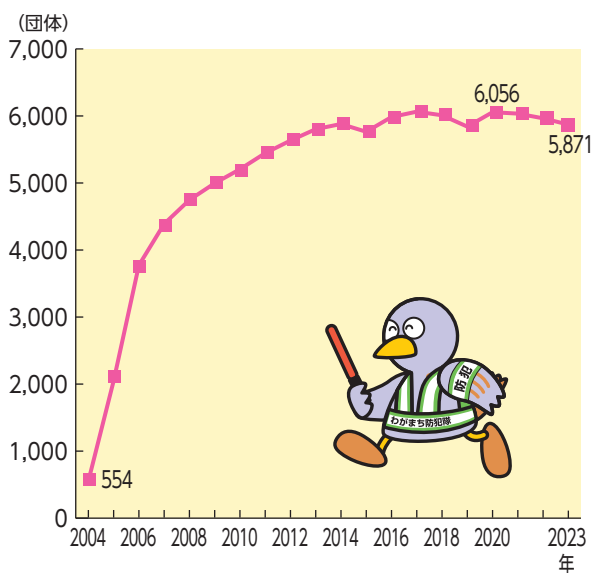
⑥ 特殊詐欺の認知件数・被害金額の推移



資料：県警察本部「特殊詐欺統計資料～認知状況と被害の特徴～」

- 2023年中の特殊詐欺被害は、認知件数1,336件、被害金額は31億8,394万円でした。

⑦ わがまち防犯隊の数の推移 (各年末現在)



注) 5人以上で平均して月1回以上活動している団体の数である。
資料：県防犯・交通安全課「わがまち防犯隊の数の推移」

- 県内の自主防犯活動団体(愛称:わがまち防犯隊)の数は、5,871団体(2023年末現在)で日本一です。わがまち防犯隊では、地域で自主的に防犯パトロールや子供の見守り活動などの防犯活動を行っています。